

## 国際技術検討委員会からの主な助言と結論

- 委員会はデザイングループに、「MUSES 加速器施設は仮にその全機能が当初実現しなくても将来のアップグレードによって復活されるであろう、発展的マシン集合体である」と捉えることを勧める。
- ACR リングのデザインは、建物のデザインを決めること、そしてリングコンポーネントの詳細なエンジニアリング設計を始めることを可能にするために必要な高度な状態に近づいていると思われる。
- 委員会はマルチパーパスリングの価値を認めるが、ACR は蓄積モードに最適化することを提言する。高度な蓄積タスクのためにも、他のオプションによって ACR デザインが妥協したものになるべきではない。いくつかのオプションはコライダーリング、もしくは追加リングへ移すことは考慮できるかもしれない。
- 現時点での蓄積及び冷却計画案はすばらしいスタートポイントに立っている。しかしできるだけ高い蓄積率を得ることができるということを確認するために更なる R&D が必要である。さらなる改良を可能にするための十分な柔軟性が維持されれば、この研究開発プログラムは建物建設工事と平行して継続することができるだろう。
- 蓄積機能の部分をコライダーリングへ移すことも考えられるし、(おそらく後の段階で) もう一つの ACR リングを加えることの利点を調査することも可能であろう。
- 国際的な提携は MUSES プロジェクトにとって重要な利点となるであろう。似たような研究分野でのノウハウやプロジェクトを持っている研究所との共同研究の枠組みの中で、主要な設備が開発され、ことによると建設することも可能かもしれない。